

自然豊かな中山間地域の 交流促進拠点・テレワークセンター 「森のイノベーションラボFUJINO」 (森ラボ)

令和6年10月
緑区役所地域振興課



森ラボとは

運営コンセプト：SDGs with ART



ウッドデザイン賞受賞
JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2021

働く場の提供と個性豊かな地域とつながるハブとなり、イノベーションを生み出すことを目指した、テレワーク機能を有する
コワーキング施設兼交流施設。築30年以上の藤野総合事務所会議室棟2階・3階をリノベーション。

所在 相模原市緑区小淵2012（藤野駅から徒歩3分）

営業日 月～土曜日 8：30～19：00（日曜・祝日・年末年始を除く）

料金 テレワーク利用：有料（令和7年3月末まで水曜日は無料体験日）
イベント・プロジェクト：原則無料

地元津久井産の
木材を使用



森ラボトピックス

- **累計登録者 1, 158人** (令和6年9月末時点) 【令和5年度末 1, 005人 令和4年度末 665人】
(緑区47%、緑区外9%、県内相模原市外10%、都内23%、その他11%)
- **利用者 1, 354人** (令和6年9月末時点) 【令和5年度 2, 407人、令和4年度 1, 470人】
(緑区70%、緑区外7%、県内相模原市外4%、都内14%、その他5%)
- **イベント・プロジェクト 62回** (令和6年9月末時点) 【令和5年度 105回、令和4年度 50回】
- **森ラボプロジェクト** (地域が主体となって地域課題を解決する取組) 22案件組成
- **地域おこし協力隊**を令和5年10月から森ラボで2名受入 (中山間地域デジタル化支援)
- **NPO法人・活動団体の設立や個人等起業の支援**
- イベント等を通じた関係人口の創出による**移住の実現 (10世帯以上)**

森ラボの3つの取組

◎テレワーク促進

コワーキングスペースを活用したミーティング、個室を活用したWeb会議、テレワーク

◎中山間地域交流促進機能（津久井・相模湖・藤野地区）

①ビジネス支援

デジタルツール活用講座、中山間地域におけるビジネス講座、事業促進・雇用創出のための支援、地域と都心の企業・個人とのマッチング、起業家育成講座

②魅力発信

中山間地域で活躍する人材の紹介（地ビール・リキュール生産者、農産物生産者、アーティスト等）、地域の特産品・体験を提供するマルシェの開催（藤野パーキングエリア、おばらまるしえ、藤野ふる里まつり等）、アート思考でのイノベーション推進講座

③プロジェクト支援

住民が主体となって地域課題解決を図るプロジェクトの立ち上げ及び運営の支援
22プロジェクトが稼働中

◎地域おこし協力隊の活動支援（令和5年10月～）

協力隊による地域デジタル化支援等活動の支援、任期後の自立・定住準備支援

現在進行中の22のプロジェクト（令和6年9月末時点）

【森ラボプロジェクト】地域が主体となって地域課題を解決する取組（それぞれにリーダーが着任）

森の再生	ナラ枯れ対策、炭の蓄電池制作	森の家づくり	DIYの家づくり見学会、ワークショップ
森ラボビジネス	起業・副業・モザイク就労の支援	VR	避難所運営のバーチャル実験
農業再生	農業ボランティア募集や地産商品紹介	中山間医療介護	中山間地域医療に関する意見交換
農産物商品開発	規格外野菜の活用(加工出店)	アート体験	地元アーティストによるアート体験
藤野駅前活性化	駅前の空店舗の利活用検討	移動共有	地域住民間の助け合い輸送の実証実験、ライドシェア
WEB3.0	メタバースによる地域のビジネス化検討	SEOライティング	ネット集客に向けたライティング勉強会
コンペ応募	コンペ情報の共有、応募サポート	農林福藝連携	農林業・福祉・芸術連携
子どもの発達支援	発達障害児支援の仕組みや場づくり。NPO法人化し小学校で講座	バリアフリー	ロボットプロジェクト等支援
地域魅力発見発信	わかさぎ釣りなど体験事業	音楽のまち	地域で音楽を聞く機会の創出
共助の仕組みづくり	医療や介護の基礎知識を学ぶ	映画	キネコ国際映画祭と共催し映画上映
さがみこウォータースポーツ	ウォータースポーツを通じた青少年の健全育成や観光振興	空き家活用	DIYで再生させる技術を学んで活用し、情報発信

①ビジネス支援（主な実施イベント）

デジタルツール活用講座、中山間地域におけるビジネス講座



canvaデザイン講座

ご自分のパソコンやスマホを使って、名刺デザインを基に基本的な使い方を学ぶ講座。



AIの実践使い方講座

様々なAIツールについて現状や使い方を学ぶ講座。



地域産業デジタル推進講座

地域事業者や起業希望の方が悩むデジタル化やプロモーションについての実践的な講座を開催（カメラマンが教える商品撮影初心者講座、スマホを活用した魅力的な写真講座等）

①ビジネス支援（主な実施イベント）

事業促進・雇用創出のための支援



地域活動・スモールビジネス個別相談会

地域活動、市民活動、NPO活動の入門講座&相談会。



ゲームで学ぶ「店舗経営」

企業で使われている研修型のボードゲームでお金の知識や店舗経営を学ぶ講座。学生から大人まで参加があった。



確定申告・税金 無料相談会

税理士、行政書士、中小企業診断士などによる各種相談会を実施。遺言や相続の相談、土地の活用方法や、税務相談などにも範囲が広がっており、情報の傾向も収集しながら、ビジネスニーズにもつなげている。

①ビジネス支援（主な実施イベント）

地域と都心の企業・個人とのマッチング、起業家育成講座



ビジネスマッチングランチ

地域人材を求めている会社やフリーランスの人たちをマッチングするランチ会。
初回の23人を皮切りに定期開催。
また、中山間地域において、地域の求人が探しづらく、また企業側も出す場所がないという声を受けて、森ラボのwebサイトに求人情報の掲載を開始。



中山間地域 起業支援講座

スモールビジネス起業講座などの評価を受けて、地域でビジネスを始めたい層、女性やシニア層を含めて、令和6年1月より6か月間の講座としてスタート。
相模湖地区の起業社長（吉野勝恵氏）や、マザーズ上場経験があり現在第二創業を行っている30代の若手社長（中村真広氏）等もゲスト講師として参加。

②魅力発信（主な実施イベント）



さがみはら環境まつり、SDGsエキスポ

相模原市内でのイベントに出店し、森ラボ及び中山間地域での取組や商品を紹介。



森ラボ地域イベント



地域での事業者の紹介や、地域での取り組みなどが伝わるイベントを中心に開催。相模湖地区等の若手起業家、農業者の紹介イベントや、防災イベント、宇宙ベンチャーのトーク、子ども向けロボット制作イベントなど、多岐に渡るイベントを開催。

②魅力発信（主な実施イベント）



森ラボマルシェ

中央自動車道の藤野パーキングエリア（下り線）で森ラボとして出展。中日本エクシス西関東支店の協力を得て、地元の野菜や特産品、森ラボのプロジェクトから生まれたSDGsな商品など、他ではない素朴でユニークなマルシェを開催。



イベント出展

藤野ふる里まつりに森ラボとして出展。森ラボ農産物商品プロジェクトとして、高校生が規格外野菜で作ったメニューを提供し完売した。おばらマルシェ等でも藤野地区名産品のゆずを活用したたこ焼き販売なども展開。



③プロジェクト支援（主な取組）

農産物商品開発PJ（25人）

- ・高校生が、地域の農家、料理人等と連携し、規格外野菜を生かしたふりかけを商品化。

毎日新聞、読売新聞、神奈川新聞、相模経済新聞、タウンニュース等の他、YAHOO等のwebサイトでも掲載。

TBSテレビ、テレビ朝日等に出演。

農業再生PJ（28人）

- ・工業高専が地域企業の協力を得て規格外野菜を販売するアプリを開発。森ラボで地域の農家とのマッチングの場を設定し、実証実験を実施。

日本経済新聞、タウンニュース掲載。



③プロジェクト支援（主な取組）

アート体験PJ（35人）

- ・アート体験会の開催。
- ・アート思考の合宿プログラムを小田急電鉄等
に実施。



- ・夏休み企画

「地産ガチャに提案しよう！」
では、商品アイデアの出し方、
企画のまとめ方のコツを伝授。
商品化も見据えて、子どもたち
が新しい地産ガチャのアイデア
を考えてプレゼンを実施。

2023年8月31日タウンニュース
掲載。



③プロジェクト支援（主な取組）

バリアフリーPJ（13人）

- ・離れている家族をつなぐ「家族団欒ロボット」の開発。
- ・高校生2年生が「かながわアントレプレナーシップ2023」にて、エッジ賞（卓越した特長を持つ者に授与）と審査員特別賞（株式会社ユーブROOM）を受賞



地域求人情報

中山間地域において、移住して働きたい方、すき間時間で働きたい主婦・高齢者等にニーズがあったことから掲載（R6年9月時点 商工会、バス事業者等33団体）

掲載例)

 <p>社会福祉法人 泰政会 Taiso-kai Social welfare corporation</p>		<p>暮らしのデザイン</p> <h2>創和建設</h2> <p>【そらわけんせつ】</p>
<p>津久井地域包括支援センター</p>	<p>すずかけの家</p>	<p>創和建设株式会社</p>
<p>[勤務地] 神奈川県相模原市緑区中野 966-5</p>	<p>[勤務地] 神奈川県相模原市緑区牧野 1987</p>	<p>[勤務地] 神奈川県相模原市緑区小淵 1707</p>
<p>[募集職種] 正社員（応募資格は保健師 および正看護師。なお、正看護師の場合</p>	<p>[募集職種] 介護職員 [業務形態] ・9時～18時の間で6～7時間</p>	<p>[募集職種] 現場監督 [業務形態]</p>

 <p>医療法人社団 清伸会 ふじの温泉病院</p>	 <p>TKB つばめ観光バス株式会社</p>	 <p>社会福祉法人 かながわ共同会 津久井やまゆり園</p>
<p>ふじの温泉病院</p>	<p>つばめ観光バス株式会社</p>	<p>津久井やまゆり園</p>

地域おこし協力隊の活動

【任期】

令和5年10月から最大3年間

【勤務地】

森のイノベーションラボFUJINO

【活動地】

中山間地域（津久井・相模湖・藤野地区）

【主な活動内容】

- ・暮らしや事業のデジタル化支援
事業者の商品等のデータベース化、オンライン申し込み等の整備
- ・デジタル機器（スマホ・パソコン・カメラ）なんでも相談会
森ラボ、津久井総合事務所、相模湖総合事務所等で定期開催
- ・ビジネス担当：空き家の利活用、里山保全（農林業活性化）
ライフ担当：中山間地域における医療・介護の充実
- ・プロジェクト支援及び立ち上げ
バリアフリープロジェクトのシステム開発協力、子ども発達支援プロジェクトのアンケート調査及び集計、魅力発見発信プロジェクトのイベント実施、空き家活用プロジェクトの活動等



森ラボプロジェクト支援



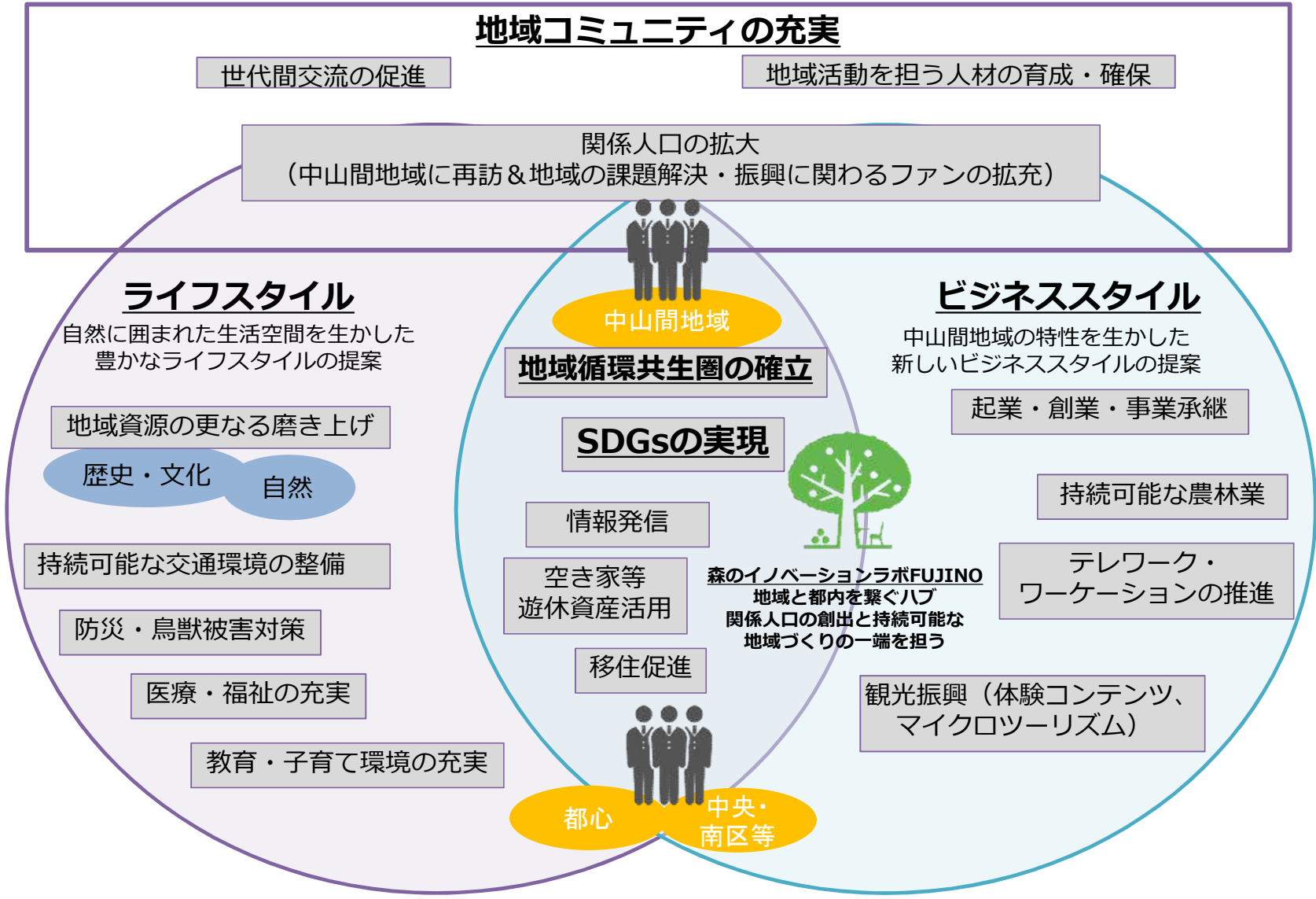
デジタル機器なんでも相談会

地域おこし協力隊の
詳しい説明はこちら
(すもうよ緑区特設ページ)



中山間地域の目指す姿 (令和5年11月市まち・ひと・しごと創生本部会議資料)

参考



森ラボのポジション
 ↓
 ビジネススタイルに比重を置きつつ、地域の
 ・ライフスタイル、
 ・コミュニティ充実を支援

中山間地域の目指す姿の実現に向けた森ラボの主な取組

参考

森ラボ
プロジェクト
(PJ)

イベント

